

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 3 - 60)

件名	弁開閉のリミットスイッチ不良による工程停止							
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 低レベル廃棄物処理建屋 : 廃溶媒処理系の弁 (リミットスイッチ)</p> <p>(2) 発生の状況 運転中</p> <p>(3) 概要 廃溶媒処理系の工程において、調整液供給モードを選択し弁の開操作を行ったが、弁開閉のリミットスイッチ不良により、全開すべき弁の全開信号が送られず、弁異常を検出し工程が停止</p> <p>* 他建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p>							
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 低レベル廃棄物処理建屋の換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 異常を検知し、工程が停止しているため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 リミットスイッチの復旧作業にあたっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 当該工程と上流工程との間に貯槽があることから他工程への影響は生じない。</p>							
対応の概要	<p>(1) 弁の状態を確認する。</p> <p>(2) リミットスイッチの交換作業が必要な場合は、当該弁の隔離作業を実施する。</p> <p>(3) 交換にあたっては、作業計画 (安全管理・放射線管理を考慮した保守手順書や適切な防護装備の着用) に従い、交換作業を実施する。</p> <p>(4) 復旧箇所に異常のないことを確認した後、手順書に従い点検 (運転) を再開する。</p>							
公表区分	翌平日に公表 (ホームページへ掲載)							
対応区分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;"> 国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	<p style="font-size: small;">(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p style="font-size: x-small;">放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p style="font-size: x-small;">運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下							
(b) 運転システムを切り替えて復旧								
(c) 当該機器を停止して復旧								
(d) 当該設備を停止して復旧								
(e) 影響範囲の設備を停止								

